

表 養護教諭のスキルラダー到達目標一覧表

ステップ	ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	
各ステップの基準	指導者の指導のもと基本的な学校保健活動を一人で実施できる	自立的に学校保健活動を実施できる。ある程度予測を持って行動できる 中堅までいかないが自立的に活動している	ステップ2に加え、臨機応変に活動している	ステップ3に加え、学校からも子どもからも信頼され、他の養護教諭の指導や地域のリーダーとして非常に優れた実践をしている	
めざす養護教諭像	1 指導者の指導のもと基本的な学校保健活動を一人で実施できる	1 基本的な学校保健活動を行うための知識・技術・態度を身につけ、自立的に活動できる 2 予防を視野に入れて活動できる	1 潜在している課題を見出し、自立的かつ臨機応変に学校保健活動ができる 2 解決困難事例に対して対処できる	1 創造的な学校保健活動ができる 2 他の養護教諭の指導や地域のリーダーとして非常に優れた実践をしている	
保健管理	1 救急処置	1 緊急時の体制が言える 2 基本的な救急処置ができる 3 対応の振り返りができる	1 事故予防に向けた対策が行える 2 来室状況を分析し、いじめ・虐待・心因性の有無を判断できる	1 教職員や保護者を巻き込んだ事故予防対策がとれる	1 事故予防に学校全体が主体的に取り組む体制をつくれる
	2 健康診断	1 指導者や教職員の指導のもとに健康診断を運営することができる 2 健康診断の結果を事後措置につなげることができる	1 養護教諭として主導的立場で健康診断を実施できる 2 健康課題を把握し対策を学校保健計画に組み込むことができる	1 潜在している健康課題を見出すことができる 2 健康診断運営のプロセスを学校保健活動にいかせる	1 健康診断の結果から子どもたちの課題を見つけ地域保健との協働ができる
	3 疾病予防・管理	1 日々の健康観察から子どもたちの健康状態の傾向を説明できる 2 感染症が発生した場合の基本的な対応をとることができる	1 健康課題の優先順位をつけることができる 2 健康課題解決方法として関係機関や教職員の役割がわかる 3 健康課題に対して支援計画をもとに支援できる	1 潜在している健康課題を見出せる 2 見出した健康課題への対策を学校保健活動に発展させられる 3 子ども・家族の課題解決力を高める支援ができる	1 疾病予防に対して関連機関との協働ができる 2 健康課題に対してPDCAサイクルを展開できる
	4 安全管理	1 各種マニュアル（自校・県・国）を読み学校の方針と養護教諭の役割を理解できる 2 校内危険箇所の早期発見ができる 3 保健室に必要な災害時の準備ができる	1 事故や災害発生時、管理職の指示を受けながら対応ができる 2 子どもたちの状況に合わせて災害時の備品を準備できる 3 子どもたちの状況に合わせて保健室に必要な災害時の準備ができる	1 多職種と連携して事故や災害時の救護を行うことができる 2 事故や災害発生後、心のケアを行うことができる 3 安全管理の体制に関して養護教諭の立場から積極的に関与できる	1 災害・自殺・事故発生への予防教育を計画的に展開することができる
	5 環境衛生	1 定められた環境衛生検査を行うことができる	1 環境衛生上の課題を見出せる	1 環境衛生上の課題を見出し、改善案を提案できる 2 環境衛生上の問題を教育的視野で捉えることができる	1 学区の環境整備・改善について提案できる
6 保健教育	1 基本的な保健指導・保健学習の方法がわかり、実施できる 2 保健指導・保健学習を実施した後、自己評価できる	1 子どもたちの健康課題を見出し、それに適した保健指導を行うことができる 2 目的・目標を明確にした保健指導の指導案を立て実施することができる	1 子どもの主体的な解決能力を育成する保健教育（保健指導・保健学習）を行うことができる 2 担任との協働による保健教育（保健指導・保健学習）を行うことができる	1 保健指導・保健学習についてPDCAサイクルを展開できる 2 子どもたちの健康課題を考慮した教育を展開する学校体制づくりができる	
7 健康相談	1 基本的な健康相談の方法を説明できる 2 指導のもと健康相談を行うことができる	1 発達段階と健康状態を照らし合わせて課題を判断し、支援計画を立案し、実践できる 2 子どもの発達段階を考慮した健康相談ができる	1 保健室登校・いじめ・虐待などの解決困難事例を扱うことができる 2 担任、保護者、外部機関と連携して支援することができる 3 健康相談についてPDCAサイクルを展開させることができる	1 本人・家族もしくは保護者が主体的に取り組めるような支援を行うことができる 2 子ども・家族・教員・養護教諭・関係機関を組織化することができる	
8 ケースマネジメント	1 ケースマネジメントの意義を説明できる 2 指導のもと複数の健康課題を持つ子どもについて多角的に健康課題をアセスメントすることができる	1 複数の健康課題を持つ子どもについて多角的にアセスメントすることができる 2 複数の健康課題を持つ子どもについて支援の計画・立案・実施を多職種と関わりながら行うことができる	1 困難な事例に対して多職種連携しながら支援を展開することができる	1 困難な事例に対してチーム支援の調整機能を果たすことができる	
9 保健室経営	1 学校保健活動の背景や根拠を把握し、養護教諭の仕事を理解できる 2 保健室そのものの環境を整えることができる 3 指導のもと保健室経営計画に基づいて保健室を運営できる	1 学校保健活動に必要な予算の仕組みについて理解できる 2 学校保健活動の目標に関する評価ができる 3 保健室経営計画の改善を図ることができる	1 学校保健活動に必要な予算を適切に運用できる 2 日常業務の分析や研究をいかにして保健室経営計画を改善できる 3 学区を視野に入れて保健室経営計画を立てられる	1 学校保健活動の評価を通して必要な企画をする 2 教職員に対し、学校保健活動のリーダー的存在となる 3 保健室経営をPDCAサイクルで展開し、学校運営に反映させることができる	
10 保健組織活動	1 校内外の関係職種を把握し、その目的と役割を説明することができる 2 児童生徒保健委員会の運営を行える 3 学校保健計画を理解している	1 関係機関と協働した活動ができる 2 学校保健計画立案に積極的に参画する	1 複雑な事例に対して校内外の支援システム構築に向けて主体的に働くことができる 2 複数の支援システムを連動させた活動ができる	1 校内外の支援システムを使って支援活動をPDCAサイクルで展開することができる 2 地域の健康づくりの拠点の一つとして機能できる	
11 自己研鑽	1 自分の仕事を振り返ることができる	1 自ら必要な専門能力などを認識し、その獲得に努める	1 養護教諭の専門能力の向上をめざした活動を行える	1 学校保健活動について指導的役割をとれる	